

研究構想図

- ・人権に関する法令等
- ・都・市の教育目標

学校教育目標

- よく考える子 (まなびワクワク)
- 思いやりのある子 (こころウキウキ)
- 健康な子 (からだイキイキ)

- ・児童の実態
- ・地域・保護者の願い

人権教育の目標

- 様々な人権に関わる事象に対して課題意識をもち、正しく理解し、自ら考え、自ら行動できる児童の育成
- お互いのよさを認め合い、協力して共に生きることのできる児童の育成

研究主題

「かかわり合いを大切にし、気づき、考え、表現する子の育成」 ～言語活動を通して～

研究仮説

人権尊重の理念のもと、言語の力を軸に、教科等の目標やねらいを基に人権教育の視点を明確にした授業の充実を図るとともに、地域ぐるみの人権教育を推進すれば、教育活動全体を通して、自分も人も大切にしようとする意識や態度、行動力を育むことができるだろう。

普遍的な視点からの取組

- ◇言語活動を通じた伝え合い
- ◇通常の学級と特別支援学級との交流

個別的な視点からの取組

- ◇人権課題
「子供」「高齢者」「障害者」「H I V感染者等」等

①人権教育の日常的な取組

- ◇縦割り班遊びや清掃
- ◇あいさつリレー運動
- ◇ありがとうメッセージ
- ◇人権に配慮した掲示物
- ◇靴箱や教室内の整理整頓

②特別支援教育の充実

- ◇ユニバーサルデザイン
- ◇通常の学級と特別支援学級「わかば学級」の交流
- ◇特別なニーズに応じた支援

③言語活動の充実

- ◇「聞き方・話し方」の指導事項の徹底
- ◇「国語科」で国語力の習得
- ◇「他教科等」で言語活動の充実

④地域ぐるみの人権教育

- ◇人権コーナー設置
- ◇人権教育の啓発活動
- ◇五中学区小中一貫校の取組(あいさつ運動)
- ◇五中学区地域清掃活動

⑤人権教育プログラムの活用

- ◇人権教育の全体計画と年間指導計画の見直し
- ◇人権ミニ研修会
- ◇人権教育研修会の研究授業・研究協議会

取組モデル

○人権教育の視点で、各教科等(体験的な活動)や道徳(心情・態度)を関連付け、言語の力(国語・言語活動)でつないだ九小のプログラム

1学年	国語「じどう車のひみつブック」をつくろう	言語活動 相手にわかりやすく、文章を書いたり、話したりする。	道徳「どうぞのいす」2ー(2) 思いやり、親切
2学年	生活「学校案内」をしよう	言語活動 1年生にわかるように話す。	道徳「こうえんのおごっこ」2ー(2) 思いやり、親切
3学年	社会「町たんけん」～学区を調べよう～	言語活動 手話で聴覚障害の方と伝え合う。	総合的な学習の時間「聴覚障害のある方から教わろう」
4学年	総合的な学習の時間「アイマスク体験」をしよう	国語 ポスターセッションで伝え合う。	道徳「父の言葉―黒柳徹子」2ー(2) 親切
5学年	総合的な学習の時間「トウキョウサンショウウオの保護飼育活動」	国語「効果的に発表しよう」	総合的な学習の時間「地域の自然環境」について考えよう
6学年	総合的な学習の時間「広げよう、心のバリアフリー」	言語活動 調べたことや自分の思いを相手に伝える。	道徳「全生園三つの宝物・一つの約束」3ー(1) 生命尊重